

入学試験問題

冊子を受け取ったらこのページを読みなさい。

- 指示があるまでは，この冊子の中を見てはいけません。
- この冊子には，「歴史総合，世界史探究」，「歴史総合，日本史探究」，「公共，政治・経済」，
(2～11ページ) (12～21ページ) (22～31ページ)
「数 学」の問題があります。
(32～39ページ)
この中から，1科目だけ選んで答えなさい。2科目以上選んだ場合は，すべて無効になります。
- 解答用紙の「解答科目のマーク欄」にマークし，その科目名を記入しなさい。さらに所定の欄に氏名・フリガナ・受験番号を記入し，その下のマーク欄に受験番号をマークしなさい。
- 解答は，下の「解答用紙記入上の注意」を参照し，「解答記入欄」に正しくマークしなさい。
- 解答時間は60分間です。
- 中途退場は認めません。
- この入学試験問題冊子は，試験終了後，各自持ち帰って下さい。

解答用紙記入上の注意

- (1) HB の黒鉛筆を使用し，下の良い例のようにマークすること。

良い例	
悪い例	

- (2) 各解答記入欄に1つだけマークすること。解答を訂正する場合は，必ずプラスチック消しゴムで完全に消し，消しくずを残さないこと。
- (3) 解答用紙を汚したり，折り曲げたりしないこと。
- (4) 所定の記入欄以外には，何も記入しないこと。

〔歴史総合，日本史探究〕

I 次の〔文章A〕～〔文章C〕を読み，【1】～【10】について，答えとして最も適切なものを一つ選びなさい。

〔文章A〕

弥生時代の後期には，西日本の各地に大規模な墳丘をもつ墓が出現した。3世紀の中頃から後半には，より大規模な前方後円墳をはじめとする古墳が現れた。出現期の古墳は形状だけではなく，⁽¹⁾石室や副葬品に画一的な特徴をもっていた。この背景には広域的な政治連合・ヤマト政権の成立が考えられている。4世紀後半から5世紀にかけて，近畿を中心に⁽²⁾〔ア〕などの巨大な前方後円墳がつくられ，これはヤマト政権を代表する大王の墓とみられる。

【1】 下線部（1）に関係する説明として正しいものはどれか。

- 1 石室は石棺をおさめた横穴式石室で，副葬品は銅鏡などの呪術的なものであった。
- 2 石室は木棺をおさめた横穴式石室で，副葬品は武器・武具が中心であった。
- 3 石室は木棺などをおさめた竪穴式石室で，副葬品は銅鏡などの呪術的なものであった。
- 4 石室は石棺などをおさめた竪穴式石室で，副葬品は武器・武具が中心であった。

【2】 空欄（ア）にあてはまる語句として正しいものはどれか。

- 1 龍角寺岩屋古墳
- 2 誉田御廟山古墳
- 3 造山古墳
- 4 岡田山1号墳

【3】 下線部（2）に関係する説明として正しいものはどれか。

- 1 『隋書』倭国伝には，5人の倭王（倭の五王）が中国の南朝へ朝貢し，称号をえたことが記されている。
- 2 埼玉県の稲荷山古墳出土鉄剣の銘文にみえる「獲加多支鹵大王」は，『古事記』『日本書紀』が伝える雄略天皇とみられる。
- 3 大王の権力の拡大に対しては地方豪族の抵抗もあり，5世紀前半には新羅と結んだ筑紫国造磐井が乱（磐井の乱）を起こした。
- 4 大王が居住する大王宮を中心に有力王族の宮や中央有力豪族の居宅が集中したが，三ツ寺I遺跡はこうした有力豪族の居宅の遺跡である。

〔文章B〕

701（大宝元）年に大宝律令がつくられると、律令国家の仕組みが整った。官人は位階を与えられ、それに対応する官職に任じられた。位階に応じて給与が与えられ、⁽¹⁾調・庸・雜徭などの課役は免除された。とくに五位以上の貴族は優遇され、⁽²⁾五位以上の子（三位以上は孫も）は父（祖父）の位階に応じた位階を与えられて出仕できた。一方、人々は戸に編成され、戸籍・計帳に登録された。この戸を単位として、⁽³⁾口分田を班給され、租、調・庸、雜徭などの租税を課せられた。調・庸は人頭税で、郡司のもとでまとめられ、都まで運ぶ^(ア)の義務もあった。また、春・夏に稲を貸し付け、秋の収穫時に5割の利息とともに徴収する^(イ)もあった。さらに兵役もあり、正丁（成年男子）3～4人に1人の割合で兵士に徴発され、軍団で訓練を受けた。一部は都の警備にあたる^(ウ)や、九州を防備する防人となった。

【4】 下線部（1）に関して、それぞれの語句とその説明の組み合わせとして正しいものはどれか。

語句 （A）調 （B）庸 （C）雜徭

説明 （a）正丁（21～60歳の男子）は、都での労役10日にかえ、布2丈8尺を納入する。

（b）絹・緇・糸・布や海産物など郷土の産物を一定量納入する。

（c）国司の命により年60日を限度に、水利工事や国府の雑用に奉仕する。

- 1 （A）－（a）、（B）－（b）、（C）－（c）
- 2 （A）－（a）、（B）－（c）、（C）－（b）
- 3 （A）－（b）、（B）－（a）、（C）－（c）
- 4 （A）－（b）、（B）－（c）、（C）－（a）
- 5 （A）－（c）、（B）－（a）、（C）－（b）
- 6 （A）－（c）、（B）－（b）、（C）－（a）

【5】 下線部（2）に関して、この仕組みは何とよばれているか。

- 1 官位相当制 2 条坊制 3 蔭位の制 4 健児制

【6】 下線部（3）に関連する説明として正しいものはどれか。

- 1 6歳以上の男子には2段、女子にはその3分の1の田が支給された。
- 2 口分田には租が課せられ、1段あたり稲4束2把であった。
- 3 人口増加による口分田の不足をおぎなうため、723（養老7）年には墾田永年私財法が発せられ、開発した田地の私有が永年保証されることとなった。
- 4 口分田の班給は、6年ごとに作成される戸籍に連動しており、その売買は禁止され、6年ごとに死者の口分田は収公された。

【7】 空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 （ア）運脚 （イ）割符 （ウ）兵衛 | 2 （ア）運脚 （イ）割符 （ウ）衛士 |
| 3 （ア）運脚 （イ）出挙 （ウ）兵衛 | 4 （ア）運脚 （イ）出挙 （ウ）衛士 |
| 5 （ア）負名 （イ）割符 （ウ）兵衛 | 6 （ア）負名 （イ）割符 （ウ）衛士 |
| 7 （ア）負名 （イ）出挙 （ウ）兵衛 | 8 （ア）負名 （イ）出挙 （ウ）衛士 |

〔文章C〕

中臣鎌足の子にあたる〔ア〕は、大宝律令の編纂や養老律令の策定に努め、律令国家の基礎を築くと共に、娘の光明子を聖武天皇に嫁がせ、天皇家と密な関係を築いた。彼の死後、⁽¹⁾その子の四兄弟が活躍したが、737（天平9）に天然痘でいずれも病死した。孝謙天皇の時代には、〔イ〕が光明皇太后と結んで勢力を伸ばし、権力を独占して儒教的政策を進めたが、皇太后の死後、孤立し、挙兵したが滅ぼされた。嵯峨天皇の時代には、北家の〔ウ〕が天皇の秘書長官である蔵人頭に任じられ、天皇家と姻戚関係をも結んだ。その子の藤原良房は、842年（承和9）の承和の変で他氏族の勢力を排除した。良房は幼少の外孫を即位させ（清和天皇）、みずからは摂政となった。あとを継いだ藤原基経は、光孝天皇を即位させ、関白となり、888年（仁和4）の阿衡の紛議を経て、その政治的地位を確立した。⁽²⁾醍醐天皇・村上天皇の時代には親政が行われたが、その合間には藤原忠平が摂政・関白をつとめ、実権を握った。969（安和2）年に醍醐天皇の子で左大臣の源高明が左遷されると、藤原北家の勢力は不動のものとなり、天皇が幼少時には摂政、成人すると関白が置かれ、その地位には忠平の子孫がつくようになった。

【8】 空欄（ア）～（ウ）にあてはまる人物の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | | |
|-------------|-----------|---------|
| 1 （ア）藤原不比等 | （イ）藤原仲麻呂 | （ウ）藤原種継 |
| 2 （ア）藤原不比等 | （イ）藤原武智麻呂 | （ウ）藤原種継 |
| 3 （ア）藤原不比等 | （イ）藤原仲麻呂 | （ウ）藤原冬嗣 |
| 4 （ア）藤原武智麻呂 | （イ）藤原麻呂 | （ウ）藤原冬嗣 |
| 5 （ア）藤原武智麻呂 | （イ）藤原麻呂 | （ウ）藤原時平 |
| 6 （ア）藤原武智麻呂 | （イ）藤原仲麻呂 | （ウ）藤原時平 |

【9】 下線部（1）に関連して、藤原四兄弟が策謀して自殺に追い込んだ親王の待遇を受けていた人物は次のどれか。

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1 橘諸兄 | 2 山背大兄王 | 3 高市皇子 | 4 長屋王 |
|-------|---------|--------|-------|

【10】 下線部（2）に関して、この親政で実施された政策として正しくないものはどれか。

- 1 醍醐天皇は班田を命じ、延喜の荘園整理令を出し、違法な土地所有を禁じた。
- 2 醍醐天皇は六国史の最後となる『日本文徳実録』の編纂を命じた。
- 3 醍醐天皇は『延喜格』『延喜式』という法典の編纂を命じた。
- 4 村上天皇は「本朝十二銭」の最後となる乾元大宝を発行した。

Ⅱ 次の〔文章A〕・〔文章B〕を読み、【11】～【20】について、答えとして最も適切なものを一つ選びなさい。

〔文章A〕

鎌倉時代になると農業生産力が高まり、西国や畿内では災害に強く多収穫の〔ア〕と裏作を〔イ〕とする二毛作が普及した。肥料の使用や鋤や鍬などの鉄製農具や家畜を利用した効率のよい農耕(牛馬耕)も広がった。

交通の要衝や寺社の門前には定期市が開かれて地元の特産品などが売買され、各地の港では問丸が活躍した。荘園の一部では年貢の〔ウ〕も行われ、輸入された〔エ〕が利用された。また、遠隔地の取引には金銭の輸送を手形で代用する為替が使われ、金融業者である〔オ〕も多く現れた。

【11】 空欄(ア)・(イ)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 (ア) 麦・(イ) 大唐米 | 2 (ア) 大唐米・(イ) 麦 |
| 3 (ア) 大唐米・(イ) 大豆 | 4 (ア) 大豆・(イ) 大唐米 |
| 5 (ア) 大豆・(イ) 麦 | 6 (ア) 麦・(イ) 大豆 |

【12】 下線部(1)に関連する語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | a 草木灰 | b 刈敷 | c 干鰯 | d 油粕 |
|-------|-------|-------|------|
| 1 a・b | 2 a・c | 3 a・d | |
| 4 b・c | 5 b・d | 6 c・d | |

【13】 下線部(2)の説明として正しいものはどれか。

- 1 酒樽を専門に輸送を行った。
- 2 陸あげされた荷物を陸路で輸送した。
- 3 さまざまな日常生活物資を大坂から江戸に輸送した。
- 4 港湾で年貢の輸送・保管販売や中継・輸送を行った。

【14】 空欄(ウ)・(エ)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 (ウ) 現物納・(エ) 鏹銭 | 2 (ウ) 銭納・(エ) 宋銭 |
| 3 (ウ) 現物納・(エ) 宋銭 | 4 (ウ) 銭納・(エ) 鏹銭 |

【15】 空欄(オ)にあてはまる語句として正しいものはどれか。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 馬借 | 2 借上 | 3 札差 | 4 車借 |
|------|------|------|------|

(2025 B—C)

〔文章B〕

南北朝の動乱は、(ア)が将軍になる頃にはしだいにおさまり、1392年には(イ)が(ウ)に譲位するかたちで南北朝の合体が実現した。

幕府機構もこの時代にはほぼ整備された。(エ)は将軍を補佐する中心的な職で、足利氏一門から選ばれた有力守護が交代で任命され、そのもとには(オ)・侍所・評定衆がおかれた。

(1) 幕府は、古参の足利氏家臣、守護一族、有力な地方武士などを集めて直轄軍を編成し、京都で将軍の護衛にあたらせた。また、⁽²⁾諸国の将軍直轄領の管理をゆだねて守護をけん制する役割も担わせた。

【16】 空欄（ア）の説明として正しいものはどれか。

- 1 朝貢形式を不服として明との貿易を一時中断した。
- 2 弟の勢力と執事である高師直の勢力が武力対決を起こした。
- 3 「花の御所」と呼ばれる壮麗な邸宅をつくった。
- 4 中断されていた明との貿易を再開した。

【17】 空欄（イ）・（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- 1 （イ）北朝の後小松天皇・（ウ）南朝の後亀山天皇
- 2 （イ）北朝の後亀山天皇・（ウ）南朝の後小松天皇
- 3 （イ）南朝の後小松天皇・（ウ）北朝の後亀山天皇
- 4 （イ）南朝の後亀山天皇・（ウ）北朝の後小松天皇

【18】 空欄（エ）に交代で任命された有力守護はどれか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 細川氏・山名氏・畠山氏 | 2 細川氏・京極氏・畠山氏 |
| 3 細川氏・赤松氏・畠山氏 | 4 細川氏・斯波氏・畠山氏 |

【19】 空欄（オ）の説明として正しいものはどれか。

- 1 京都の警備や刑事裁判をつかさどった。
- 2 将軍家の家政や幕府の財政を管理した。
- 3 東国の支配を行った。
- 4 所領の訴訟を審理した。

【20】 下線部（1）・（2）の説明にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 （1）会合衆・（2）御料所 | 2 （1）会合衆・（2）兵糧料所 |
| 3 （1）奉公衆・（2）御料所 | 4 （1）奉公衆・（2）兵糧料所 |
| 5 （1）引付衆・（2）御料所 | 6 （1）引付衆・（2）兵糧料所 |

Ⅲ 次の〔略年表〕を見て，【21】～【30】について，答えとして最も適切なものを一つ選びなさい。

〔略年表〕

西暦	出来事
1808年	(1) <u>フェートン号事件</u>
1824年	常陸大津浜に英船員上陸
1825年	(2) <u>異国船打払令</u>
1837年	(3) <u>モリソン号事件</u>
1842年	天保の薪水給与令
1846年	ビッドル来航
1853年	ペリー来航
同 年	(4) <u>プチャーチン来航</u>
1854年	ペリー再来航
同 年	日米和親条約調印
1856年	(5) <u>ハリス，駐日総領事として着任</u>
1858年	(6) <u>日米修好通商条約調印</u>
1860年	五品江戸廻送令
1863年	(7) <u>長州藩による外国船砲撃</u>
同 年	(8) <u>薩英戦争</u>
1864年	下関戦争
1865年	(9) <u>条約勅許</u>

【21】 下線部（1）の説明として正しいものはどれか。

- 1 アジアにおけるオランダの拠点を，フランスが奪おうとした事件。
- 2 アジアにおけるオランダの拠点を，イギリスが奪おうとした事件。
- 3 樺太や択捉島を，ロシア軍艦が攻撃した事件。
- 4 漂流民返還のために来航したアメリカ船を，日本側が砲撃した事件。

(2025 B—C)

【22】 下線部（2）の説明として正しいものはどれか。

- 1 この布令を根拠として、尊王攘夷運動が盛んになった。
- 2 無二念打払令ともいわれ、全ての外国船を即時撃退することが命じられた。
- 3 清・朝鮮・琉球の船は打ち払いの対象外とされた。
- 4 商船や捕鯨船などの外国船は、薪水や食料を与えて退去させる方針だった。

【23】 下線部（3）の説明として正しいものはどれか。

- 1 女性皇帝エカチェリーナ2世の命により、根室に来航した。
- 2 長崎港内に侵入し、薪水・食料を強奪して退去した。
- 3 薩摩の宝島に船員を上陸させ、暴行を働いた。
- 4 漂流民返還と通商交渉のため、浦賀に来航した。

【24】 下線部（4）の説明として正しくないものはどれか。

- 1 伊豆の下田にディアナ号で来航し、日本の開国を要求した。
- 2 レザノフが長崎で得た信牌をもち、通商を求めて来航した。
- 3 日露和親条約を締結し、択捉島・得撫島間に国境を定めた。
- 4 安政大地震の津波でディアナ号が大破したため、日本でヘダ号を建造して帰国した。

【25】 下線部（5）に関して、ハリスが着任したのはどこか。

- | | |
|------|-------|
| 1 下田 | 2 神奈川 |
| 3 浦賀 | 4 横浜 |

【26】 下線部（6）に関して、条約調印を行ったのはだれか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 老中首座・阿部正弘 | 2 大老・堀田正俊 |
| 3 老中首座・安藤信正 | 4 大老・井伊直弼 |

【27】 下線部（6）の説明として正しいものはどれか。

- 1 朝廷の勅許が得られないまま、幕府は条約の調印を断行した。
- 2 輸出入品の取引は、居留地において日本の通貨のみを用いて行われた。
- 3 日本側にとって貿易は大幅な輸入超過となり、物価が下落した。
- 4 金銀比価の相違により、日本から多量の銀貨が海外に流出した。

【28】 下線部（7）に関して、長州藩が砲撃したのはどの国の船か。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 イギリス・フランス・オランダ | 2 アメリカ・フランス・オランダ |
| 3 イギリス・アメリカ・ロシア | 4 オランダ・フランス・ロシア |

【29】 下線部（8）に関して、そのきっかけとなった事件はどれか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 生麦事件 | 2 東禅寺事件 |
| 3 イギリス公使館焼打事件 | 4 グローウニン事件 |

【30】 下線部（9）に関する説明として正しくないものはどれか。

- 1 列強四カ国は兵庫沖に艦隊を送り、勅許を得るために圧力をかけた。
- 2 孝明天皇は安政の五カ国条約を正式に承認し、勅許を下した。
- 3 孝明天皇は条約を勅許したが、兵庫開港については認めなかった。
- 4 幕府は政局安定のため、公武合体による朝廷との提携を策した。

（歴史総合、日本史探究の問題は次ページに続く）

(2025 B—C)

Ⅳ 次の〔史料A〕・〔史料B〕を読み、【31】～【40】について、答えとして最も適切なものを一つ選びなさい（史料は一部を書き改めたり、省略したところもある）。

〔史料A〕

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差別なく、万物の霊たる身と心との働を以て天地の間にあるよろづの物を資り、以て衣食住の用を達し、自由自在、互に人の妨をなさずして各安楽にこの世を渡らしめ給ふの趣意なり。されども今広く此人間世界を見渡すに、かしこき人あり、おろかなる人あり、貧しきもあり、富めるもあり、貴人もあり、下人もありて、其有様雲と泥との相違あるに似たるは何ぞや。其次第甚だ明なり。実語教に、人学ばざれば智なし、智なき者は愚人なりとあり。されば賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるとに由て出来たるものなり。
(出典省略)

【31】 〔史料A〕が含まれるものはどれか。

- 1 学問のすゝめ 2 西洋事情 3 脱亜論 4 文明論之概略

【32】 下線部（1）の啓蒙思想の普及を目的として、この著者が参加した結社はどれか。

- 1 愛国社 2 明六社 3 自由党 4 立志社

【33】 〔史料A〕が刊行された1872年の出来事として正しくないものはどれか。

- 1 グレゴリオ暦採用の公布 2 学制の発布
3 キリスト教の解禁 4 兵部省廃止、陸軍省・海軍省設置

【34】 〔史料A〕に関連して、1886年にいわゆる学校令を公布した文部大臣はどれか。

- 1 榎本武揚 2 西園寺公望 3 井上毅 4 森有礼

【35】 下線部（2）に関連して、1890年に発布された教育勅語の目的はどれか。

- 1 児童への義務教育の徹底 2 忠君愛国思想の強化
3 国定教科書の制度化 4 国民皆学の実現

〔史料B〕

斯の如く⁽¹⁾倫敦に於ける条約改正の事業は百難の中^{わずか}僅に一条の活路を開き、進行する間に、今は漸く彼岸に達すべき時節こそ到来せり。即ち明治二十七年七月十三日付を以て⁽²⁾青木公使は余に電稟^{でんひん}して曰く、「本使は明日を以て新条約に調印することを得べし」と。而して余が此電信に接したるは、抑々如何なる日ぞ。⁽³⁾雞林八道の危機^{まさ たんせき}方に旦夕に迫り、余が大島公使に向ひ「今は断然たる処置を施すの必要あり、何等の口実を使用するも差支え無し、実際の運動を始むべし」と訣別類似の電訓を発したる後僅に二日を隔つるのみ。余が此間の苦心^{たほう}慘澹經營太忙なりしは実に名状すべからず。然れども今此喜ぶべき佳報^{とみ}に接するや頓に余をして積日の労苦を忘れしめたり。

(『蹇蹇録』)

【36】 〔史料B〕を著したのはだれか。

- 1 陸奥宗光 2 大隈重信 3 井上馨 4 寺島宗則

【37】 下線部（1）において撤廃されたものはどれか。

- 1 片務的最恵国待遇 2 外国人裁判官任用
3 領事裁判権 4 内地雜居

【38】 下線部（2）の人物は1891年に外務大臣を引責辞任したが、そのきっかけとなった出来事はどれか。

- 1 ノルマントン号事件 2 大津事件
3 甲申政変 4 三国干涉

【39】 下線部（3）の危機を契機に生じた出来事はどれか。

- 1 壬午軍乱 2 閔妃殺害事件 3 防穀令事件 4 日清戦争

【40】 条約改正に関連して、1911年の関税自主権回復時の外務大臣はだれか。

- 1 寺内正毅 2 小村寿太郎 3 桂太郎 4 牧野伸顕

〔歴史総合，日本史探究の問題は，このページで終了です。〕